

まんまで えーやん

定時制・湊川高校の春

⑧

3月2日。屋外では、桜のつぼみたちがまだ寒さに耐えていた。

一方の校内は、春らんまん。喜びに満ちている。

湊川高校の卒業式。普段はにぎやかな講堂も、この時ばかりはしんと静かだ。

スーツ姿で決めた卒業生たちが、順に証書を受け取っていく。後方では、スマートフォンで動画を撮影したり、涙目で見守ったりする保護者らの姿があった。

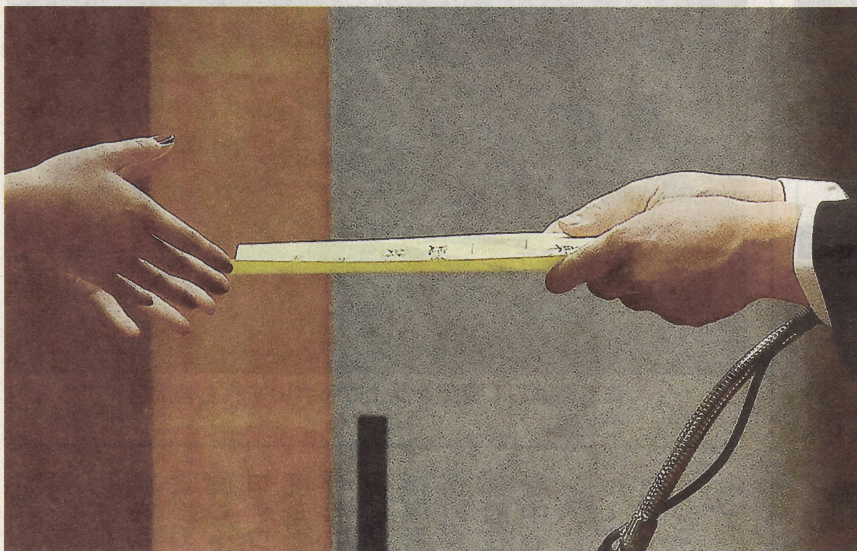
水畑哲也校長(60)は3月末に退職。IIは「うちは入学する以上に、続けることが難しい」と、卒業生をたたえた。

多様な経歴や背景を持つ生徒を受け入れ、その学びを支え、送り出してきた湊川高校。今年32人が巣立った。みんなの本音が知りたくて、卒業生や在校生に作文を書いてもらった。

湊川のどこが好き?

卒業生の一人、リョウタさん
II仮名IIは20代。生まれつき脳

巣立ち



手から手へ＝神戸市長田区寺池町1(撮影・中西幸大)

性まひで、5年前から車いすで生活する。

小中学校時代はいじめに苦しみ、不登校に。どんな大人になるのか、不安と苦悩の日々だった。

《みんな私の年齢も障害のことも、気にせず接してくれた》
《湊川での経験すべてが、大きな財産》。前向きな言葉で高

髪型で個性が出せる》。みんな違って、みんないい。詩の1節が浮かぶ。ほかに《廊下にも鮮やかな花があつて、気分が上がる》とも。目の付け所がステキだ。

社会に出た後で「学び直したい」と、湊川高校へ。理由は、バリアフリー設備があつたか

自由な校風も人気だ。
《化粧やマニキュアをしても先生に怒られない。むしろかわいいて褒められる》《服装や

ただ、自由な校風は裏を返せば、自分で考えて行動する責任が求められる。
《人数が少ないから先生に質問する時間が多い》《クラスの人数が少ない分、自然と主体的な生徒が増えていく》。そうか、自主性はこうして育まれていくのか。

一番多かった答えが、先生との距離の近さ。
《先生に何でも相談しやすい》
《先生がフレンドリー》
《先生というより、面倒見がいい大人》
《経験豊富な年上の方がいるので、バイトなどの身近な相談も気軽に話せる》。最後にぐつとくる一文を。《見て見ぬふりをしない》

さあ4月、新入生はどんな印象を抱くだろう。夜の校舎が待っている。

「よつこそ、湊川へ。まんまでえーやん」と。(末永陽子)
II入学おめでとう・完II

見て見ぬふりをしない学校